

修了生の活躍事例

工業高校から電気を学んできました

私は、那須工業高校(現:那須青峰高校)の電気科を卒業しました。元々、ものづくりが好きでしたので、当時、できたばかりの小山職業訓練短期大学校(現:関東職業能力開発大学校)の電気科に進学しました。他の大学と違って、朝から夕方までびっちり授業が詰まっていたという印象が残っています。

実験でのレポート作成が活かされた

授業は、学科と実技(実験含む)がおおよそ半々だったように記憶しています。当時は、企業出身の先生などもおられました。実験ではとにかくレポートを書かされることが多く、寮に帰ってからもレポート作成に追われていたことを思い出します。当時は、たいへんだという気持ちしかありませんでした。就職してから、仕事では様々なことを考え、検討し、レポートにまとめ、報告するのが普通ですので、今から考えると学校での経験がそのまま業務に活かされると感じています。

株式会社栃木ニコン
技術統括部第1生産技術部部长

西田 康彦 (57)

関東職業能力開発大学校
(当時:小山職業訓練短期大学校)

専門課程:電気科
(昭和60年度修了)



同じ学校の修了生がこんなに在籍しているとは

今回、関東能開大の方から、当社に修了生の在籍状況の調査がありましたが、修了生がこんなに在籍しているとは思いませんでした。日頃、業務を行う際には、同じ学校の修了生ということは意識はしていませんでしたが、今後、業務の際の話のキッカケになりますし、あらためて仲間意識なども芽生えてくるのではと感じています。

就職先企業での活躍

西田 康彦 さんの業務

卒業時の研究テーマは半導体(SIC)の電気物性としていた関係もあり、最初は半導体露光装置の電気技術者として配属となりました。しかし市場ニーズや製品サイクルのタイミングもあり、すぐに一眼レフカメラ用交換レンズの光学技術者へ配置転換となりました。元々、電気を専攻していましたが、異なる分野でも学校で学んだ沢山のことが活かされ、なんとか務めあげることができました。会社では、その後も多くの新しいことにチャレンジをすることができました。ニコンと言えばカメラのイメージがありますが、顕微鏡用の対物レンズや半導体露光装置用の超高精度レンズなど多くの光学製品を世に送りだし社会に貢献しています。栃木ニコンは今後も時代が求めるモノづくりを、高い光学技術力をもって挑戦していきたいと考えています。

株式会社栃木ニコン

ニコングループの兄弟企業である(株)栃木ニコンプレジジョンの社員を合わせ、30名ほどの関東能開大修了生が在籍しています。

【事業紹介】

栃木ニコンで生産しているカメラ用交換レンズは写真を愛する世界中の人々から高い評価を得ています。交換レンズをはじめとし、顕微鏡用対物レンズや半導体露光装置用の超高精度レンズなど、那須高原の豊かな自然につつまれた街から、世界をリードする光学製品を送りだしています。精度をさらに突き詰め、品質に徹底してこだわる栃木ニコンの姿勢が、世界で認められる製品となって結実しています。

【主要製品】

一眼レフ・ミラーレスカメラ用交換レンズ、顕微鏡用対物レンズ、半導体露光装置用投影レンズなどの光学製品

